

【運用例】MAPs for CLINICがご利用いただけないときの診察対応

ここでは、ネットワーク障害時などに、患者情報エディタを使用して業務を行う場合の運用例をご案内します。
受付業務・医師業務について、それぞれ図でご案内していますので、必要に応じてご参照ください。

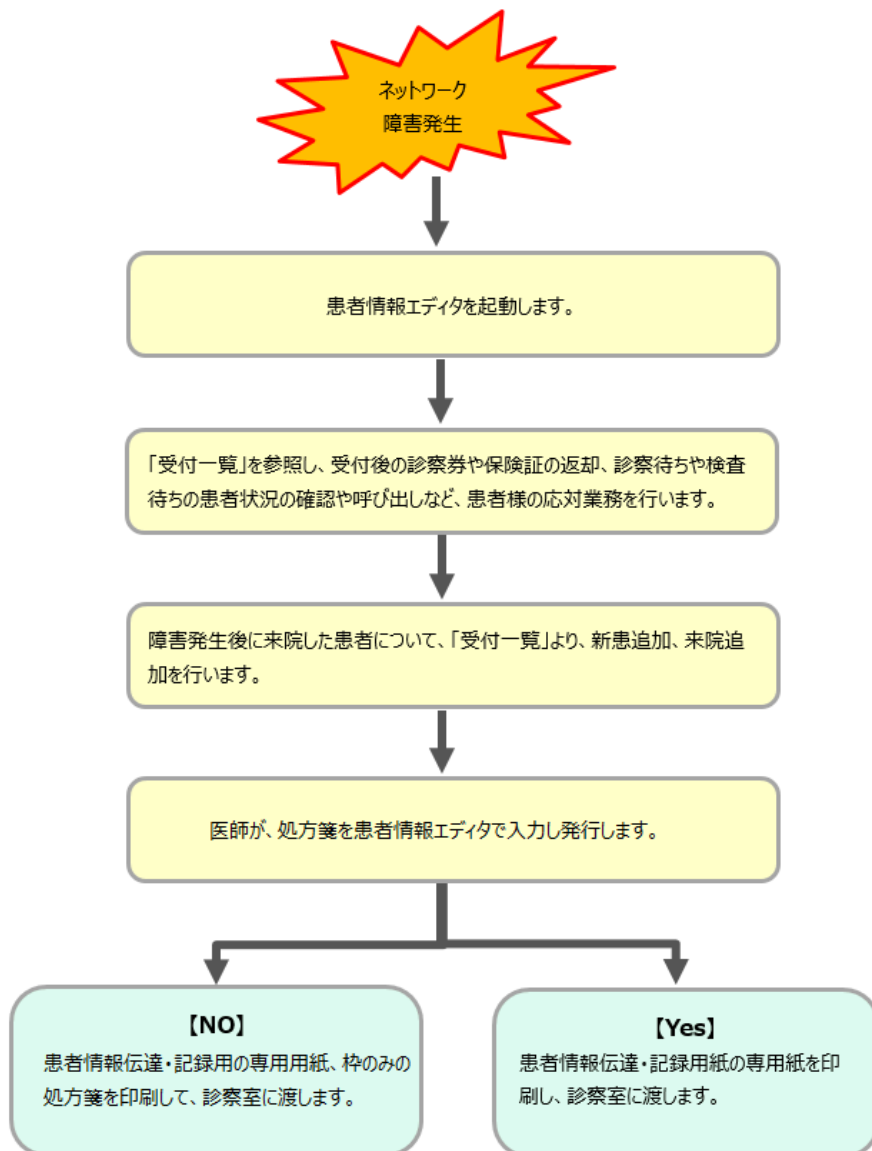
それぞれの業務の実際の操作については、このページの下「関連項目」より該当ページをご参照ください。

また、患者情報エディタの各機能については、このページの下「MAPs for CLINICと患者情報エディタ」をご覧ください。

ネットワーク不調時の診察対応について <受付業務>

下記の記載事項は、障害発生時の患者情報エディタを使用した運用例です。

障害発生時の患者様対応方法に関して、あらかじめ医療機関ごとにご検討いただき、各施設様の運用に即した対策マニュアルとしてご準備を推奨いたします。

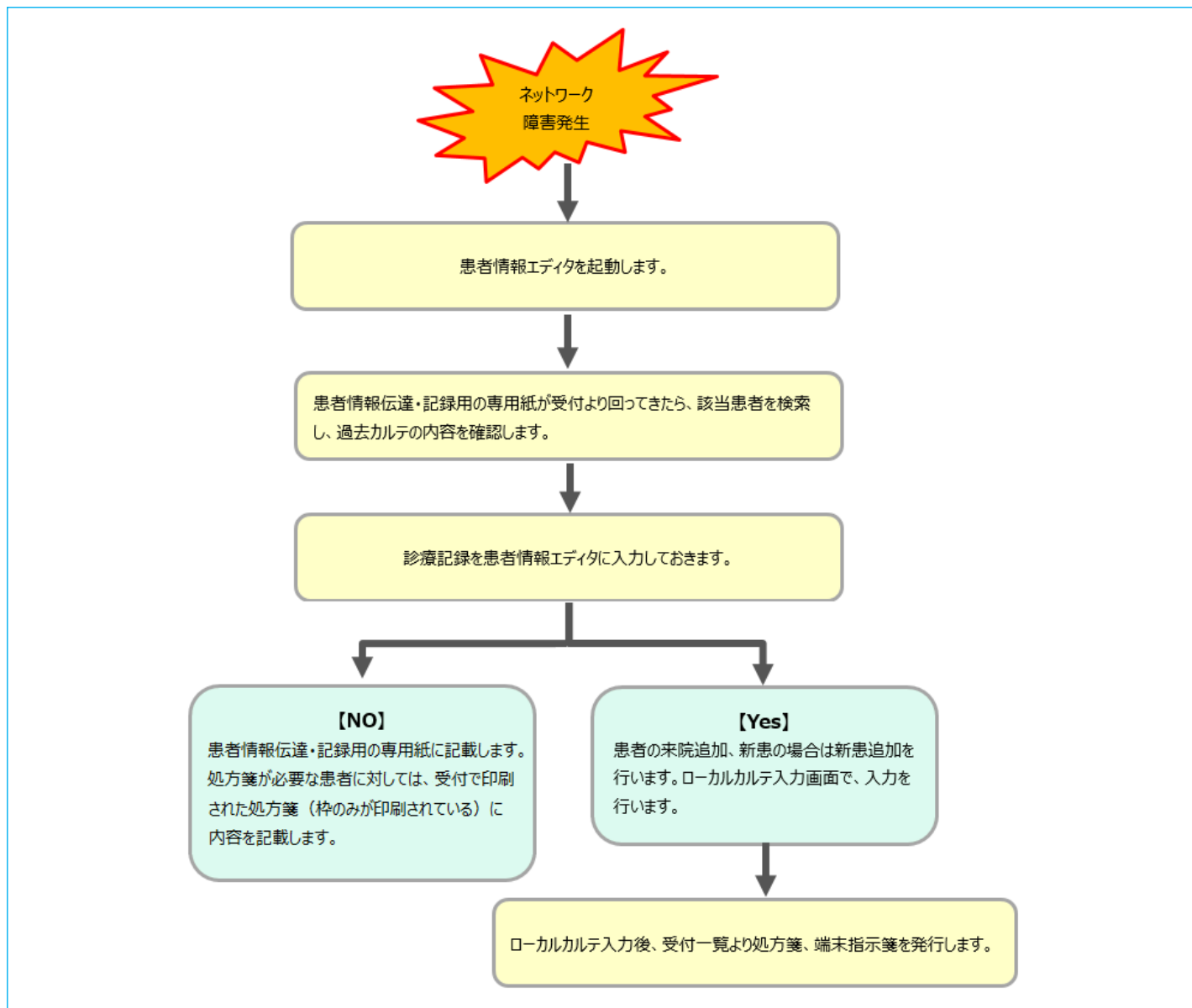




ネットワーク不調時の診察対応について<医師業務>

下記の記載事項は、障害発生時の患者情報エディタを使用した運用例です。

障害発生時の患者様対応方法に関して、予め、医療機関毎にご検討いただき、各施設様の運用に即した対策マニュアルとしてご準備を推奨いたします。



MAPs for CLINICと患者情報エディタ

患者情報エディタでは、MAPs for CLINICが使用できない状況で、一時的な入力や閲覧等を行っていただく機能のため、

MAPs for CLINICの機能がすべてご使用いただけるわけではありません。

機能の主な違いは、下表をご確認ください。

機能	ご使用の可否	患者情報エディタの機能
受付業務	○	お使いの端末の患者情報エディタで作成した受付情報やローカルカルテは、その端末のみで閲覧できます。他端末の患者情報エディタで作成した受付情報やローカルカルテは、表示できません。 ※一括ダウンロードを行っている場合、システム終了時の差分ダウンロードを実施すると、ダウンロードした情報までを表示できます。 ※上記に加えて、常時連携設定を行っている場合、当日にMAPs for CLINICで追加した新患も表示できます。
患者情報登録	○	MAPs for CLINICで登録している内容を閲覧することができます。 新患や、保険追加を行う場合、患者氏名や保険種別等のみの簡易登録です。MAPs

		for CLINICが起動できるようになったら、MAPs for CLINICへ登録が必要です。
予約	閲覧のみ	
問診	閲覧のみ	
傷病名	閲覧のみ	
過去カルテ	○	
主訴・所見入力	○	テキスト入力のみです。 また、文字は、黒色/ Meiryo UI / 13pt に固定です。
診療行為入力	△	「診療行為セット」(カルテセットの診療行為部分)または「処方」(ガジェットの「処方」ボタンに相当)のみ入力することができます。 ※過去カルテからのDo入力や、処方以外のガジェット入力等のご使用いただけません。
会計精算	×	
検査依頼	×	
外部機器連携	×	
処方箋発行	○	副保険を持っている患者で、分点数がある場合でも、1枚にまとめて印刷されます。
端末指示箋発行	○	
領収証・ 診療明細書発行	×	
薬剤情報・ お薬手帳発行	×	
患者記録用紙 印刷	○	院内での伝達・記録用として、専用書式の印刷が可能です。カルテの1号用紙・2号用紙に記載する内容を手書きで記入いただける様式です。
請求業務	×	
日報・月報	×	

関連項目

- ・ [診察中にネットワークに繋がらなくなった場合の診察 - 患者情報エディタ](#)
- ・ [既存患者の診察（ローカルカルテの作成） - 患者情報エディタ](#)
- ・ [新患の診察（ローカルカルテの作成） - 患者情報エディタ](#)
- ・ [既存患者の診察（閲覧のみ） - 患者情報エディタ](#)
- ・ [【復旧後】MAPs for CLINICへの反映手順 - 患者情報エディタ](#)

